

科目名	保育実習 I (施設)				担当	大塚 美奈子・市東 賢二・多田 幸子		
形態	実習	単位数	2	開講時期	1 年後期 2 年前期	実務経験	特別支援学校勤務経験有 (大塚)	
必修	保育士：必修 レク：選択必修				ナンバリング	Y5104	DPとの 関連	免 1・免 2
授業概要	本科目は、児童福祉施設または障害者自立支援施設での実習科目である。実習を行うためには、「保育所実習 I (施設) 事前指導」に 14 回出席し、幼児教育学科の実習許可会議によって実習を許可されることが必要である。							
到達目標 学習成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童福祉施設や障害者自立支援施設の役割や機能を具体的に理解する 2. 観察や利用児・者とのかかわりを通して利用児・者への理解を深める 3. 既習の教科の内容を踏まえ、利用児・者及び保護者への支援について総合的に理解する 4. 支援の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する 5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する 							
	回	内容						
授業計画	1	1. 施設の役割と機能						
	2	(1) 施設における利用児・者の生活と保育士の援助やかかわり						
	3	(2) 施設の役割と機能						
	4	2. 利用児・者の理解						
	5	(1) 利用児・者の観察とその記録						
	6	(2) 個々の状態に応じた援助や関り						
	7	3. 施設における利用児・者の生活と対応						
	8	(1) 計画に基づく活動や援助						
	9	(2) 利用児・者の心身の状態に応じた生活と対応						
	10	(3) 利用児・者の活動と環境						
	11	(4) 健康管理、安全対策の理解						
	12	4. 計画と記録						
	13	(1) 支援計画の理解と活用						
	14	(2) 記録に基づく省察・自己評価						
	15	5. 専門職としての保育士の役割と倫理						
		(1) 保育士の業務内容						
		(2) 職員間の役割分担や連携						
		(3) 保育士の役割と職業倫理						
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉施設の生活に参加し、施設及び利用児 (者) への理解が深まったか 2. 保育士としての基礎的な資質・能力・技術を習得することができたか <p>以上の観点から実習施設の長が評価するとともに、実習日誌の内容及び手続き等から、保育技術及び職業倫理の修得の程度を実習委員会が評価する</p>							
評価方法	その他 100% (実習園による評価 60%、実習委員会による評価 40%の割合で点数化し、総合的に評価する。)							
フィードバック 方法	実習現地指導を行い、実習に関する指導及び助言を行う 実習日誌は実習後に評価し返却する							
アクティブ ラーニング	ディスカッション、実習							
教科書	『実習ガイドブック』上田女子短期大学							
参考書	授業中に随時提示する。							
履修条件	「保育実習 I (施設) 事前事後指導」15 回を受けることが実習履修の要件である また、本学幼児教育学科において定める実習実施基準を履修の条件とする							
授業外学習	事前学習：「保育実習 I (施設) 事前事後指導」の第 1～13 回、施設毎に実施される事前指導を受講し、実習の目的を具体的に考察すること 事後学習：実習での体験や学びを明確化し、自らの課題について考察すること							
オフィスアワー	2 階 12 番研究室 3 階第 9 研究室 3 階第 10 研究室 mail:Office365 outlook へ							